

砂川 高等学校 令和7年度（2・3学年用） 教科： 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 学年 組～ 組

教科担当者： （ 田海 ） （ 市川 ） （ 小澤 ）

使用教科書： （ 文学国語〔東京書籍〕、新訂版最新国語便覧〔浜島書店〕 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	【学びに向かう力、人間性等】
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学 期	A 単元 山月記 【知識及び技能】 ・漢文調を生かした語句について、指示されたものに限らず、自ら探して調べ、意味や使われ方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・李徴の生い立ちと人間像について読み取り、根拠とともに説明する。 ・李徴が虎になった経緯と虎になった心情を読み取り、根拠とともに説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合いを通して自分の考えを更に深めようとする。	・作者について予備知識を持ったうえで、現代社会の、あるいは自分が置かれた状況と同じ点、違う点について考える。 ・あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。 ・「語り」の変化を手がかりに、本文をいくつかの場面に分け、それぞれの要点をまとめる。 ・李徴がどのような経緯をたどって虎になったかをまとめる。 ・第三段を中心に、虎となった李徴の心情を考える。	○		○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	A 単元 山月記 【知識及び技能】 ・登場人物の考え方や生き方を読み取ることを通して、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める意義について理解し、根拠をもって説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・李徴が自らの詩を袁孝に伝えた理由や李徴の心情の変化を読み取り、根拠とともに説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・李徴の生き方についての自分の考えをまとめ、話し合いを通して自分の考えを更に深めようとする。	・第四段・第五段を中心に、李徴の心情、生き方を探る。 ・李徴は自らの詩をどのような理由から袁孝に伝え、袁孝はその作品をどのように感じたか、考える。 ・第六段・第七段を中心に、李徴と袁孝の別れについて考える。 ・これまでの学習を踏まえて、李徴が虎になった理由についてどう分析しているかを押さえ、考える。 ・怪異な虚構が用いられた理由、効果について発表する。 ・李徴の生き方について話し合う。（言語活動）	○		○	【知識・技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2 学 期	B 単元 沖縄の手記から 【知識及び技能】 ・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「私」と出会って別れるまでの当間キヨの心情の変化を、状況の変化とともに読み取り、根拠とともに説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめ、考察を深めようとする。	・太平洋戦争、殊に沖縄戦に関する知識を出し合い、必要に応じて更に調べ、確認する。 ・あらすじを整理するとともに、語句の意味、漢字の読みを確認する。 ・第一の梗概（冒頭）以下の二つの段と、第二の梗概以下の段とを合わせて、全体が三つの段からなることを確認し、時系列に即した事件の展開を理解する。 ・「私」と「娘」が置かれた状況や立場を、地の文の説明やそれぞれの発言に注意して読み取り、まとめる。	○		○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、学習課題に沿って、人間の生と死について考え、まとめようとしている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
	B 単元 沖縄の手記から 【知識及び技能】 ・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「私」が当間キヨの前で自然にひざまずいた時、キヨと同じ鳴咽がこみ上げてきた時の「私」の気持ちを読み取り、根拠とともに説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の生き方や考え方から、人間の生死について自分の考えをまとめ、考察を深めようとする。	・「私」の当間キヨに対する心情と、最後の場面におけるその行動の意味を読み取り、まとめる。 ・「私」の当間キヨに対する心情の変化を、事件の展開に即して整理し、読みを深める。 ・比喩表現や、人物の描写に関わる象徴的な表現などを指摘し、その効果について考える。 ・感想を交換し、主題について全体で話し合い、更に必要に応じて、発展的な読書、調査などによって、考えを深める。	○		○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時代背景や登場人物の生き方・考え方を把握し、学習課題に沿って、人間の生と死について考え、まとめようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○		1

3 学 期	Ｂ 単元 ころろ 【知識及び技能】 ・本文の語句について、意味と働きを理解し自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文を話の展開に沿って場面分けし、それぞれの内容を要約し、説明する。 ・「私」についての表現から、そのときの「私」の心理状態を読み取り、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「私」とKが散歩する場面の描写から読み取れることについて、自分の考えをまとめ、話し合いを通して更に考えを深めようとする。	・作者・作品について予備知識を持つ。 ・「私」とKの性格の違いを明らかにしたうえで、二人の関係に注目し、「私」がKを恐れる理由を確認する。 ・「私」とお嬢さんの結婚について、奥さんから聞いたKの様子と、「私」の反応をまとめる。 ・Kの自殺を知った時の「私」の行動・心理を整理し、なぜ「私」がKの自殺に「運命の恐ろしさ」を感じたのかを考える。 ・場所・時などの変化に注意して事の経緯をまとめ、「私」とKの性格や生き方の違いについて考えて、全体を振り返る。	○	○	○	【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1 合計 76